

## 外郭団体評価調書【株式会社用】

## 1. 基本情報

平成29年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	白新町1丁目自治会会長	ホームページ	<a href="http://www.toyosaka-tmo.com">http://www.toyosaka-tmo.com</a>
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	<a href="mailto:tmo@icss.jp">tmo@icss.jp</a>
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切に、地域の暮らしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

## 2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
北区観光協会運営業務受託事業			北区観光協会の管理運営業務、観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000	3,000	3,000
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①会員の獲得	計画	人		105	104	101	96
	実績			10	98	96	
②PR事業	計画	回		10	8	5	5
	実績			6	5	5	

事業名 ②			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	回		0	0	0	0
	実績			0	0	0	
②個店支援	計画	店		80	80	85	86
	実績			80	80	81	

事業名 ③			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算)
—	—	支出額	千円	27,882	27,541	27,274	27,553
活動指標・成果目標			単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①ヤマザキショップ豊栄駅店の売上げ	計画	千円		31,000	28,000	27,000	27,000
	実績			27,698	26,834	26,546	

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
役員数	8	8	9	9
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	8	8	9	9
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	8	8	9	9
その他				
職員数	21	22	22	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	20	21	21	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	20	21	21	21
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	13	20	21	21
	合計	14	21	22	22
年齢構成	20代以下				
	30代				
	40代	5	5	5	5
	50代	4	8	8	8
	60代以上	6	8	9	9
	合計	15	21	22	22

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度予算
報酬・給与等	17,860	18,132	18,174	19,000
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	17,860	18,132	18,174	19,000
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	15,448	15,720	15,762	16,588
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み	「道の駅豊栄」売店の営業権取得に伴い従業員7名をH26.4.1から採用。	Yショップ豊栄駅前早朝勤務1名増	道の駅1名見習。シフト1本減実施。最低賃金の改訂。	

## (4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	104,752	103,345	102,288
		営業費用	100,866	100,712	99,704
		売上原価	64,075	63,339	62,212
		事業費			
		販売費・一般管理費	36,791	37,373	37,492
	営業損益	3,886	2,633	2,584	
	営業外損益	営業外収益	48	146	162
		営業外費用			
		営業外損益	48	146	162
	経常損益		3,934	2,778	2,746
損特別	特別利益	11	9	300	
	特別損失				
	特別損益	11	9	300	
税引前当期損益		3,945	2,787	3,046	
法人税、住民税及び事業税		759	917	882	
当期損益		3,186	1,870	2,164	
前期繰越損益		0	0	0	
当期末処分損益		3,186	1,870	2,164	
処利 分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

## (参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	18,840	19,260	19,270
役員分			
職員分	18,840	19,260	19,270

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
<b>資産の部</b>			
資産の部合計	55,181	57,979	59,869
流動資産	36,372	38,752	41,742
現金預金	29,636	33,468	36,182
受取手形			
未収金	1,548	1,633	1,555
有価証券			
その他流動資産	5,188	3,651	4,005
固定資産	18,809	19,227	18,127
有形固定資産	16,774	17,192	16,092
無形固定資産	57	57	57
その他投資等	1,978	1,978	1,978
繰延資産			
<b>負債の部</b>			
負債の部合計	9,441	10,369	10,094
流動負債	5,889	6,204	6,027
短期借入金			
その他流動負債	5,889	6,204	6,027
固定負債	3,552	4,165	4,067
長期借入金			
その他固定負債	3,552	4,165	4,067
<b>純資産の部</b>			
純資産の部合計	45,741	47,611	49,774
資本金	33,300	33,300	33,300
法定準備金			
剰余金	12,441	14,311	16,474
うち当期未処分損益	12,441	14,311	16,474
(当期損益)	3,186	1,870	2,164
負債の部及び純資産の部合計	55,182	57,980	59,868

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市財政支出等の合計	103	103	103
補助金	0	0	0
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	103	103	103
内 随意契約額※	103	103	103
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

--

## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度
経常損益		3,934 千円	2,778 千円	2,746 千円
当期損益		3,186 千円	1,870 千円	2,164 千円
自己資本比率	純資産	82.9 %	82.1 %	83.1 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	617.6 %	624.6 %	692.6 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	38.2 %	37.1 %	33.7 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	12,441 千円	14,311 千円	16,474 千円
資金運用 （基本財産としての 有価証券の保有）	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	① 運用方針を明文化し、それによって運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。		

## （2）団体の自立性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	0.1 %	0.1 %	0.1 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## (3) 経営の効率性

指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度
総資本経常利益率	経常利益	7.1 %	4.8 %	4.6 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	3.8 %	2.7 %	2.7 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.9	1.8	1.7
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,988 千円	4,698 千円	4,649 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	187 千円	126 千円	125 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	35.1 %	36.2 %	36.7 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	36,791 千円	37,373 千円	37,492 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	18.0 %	18.6 %	18.8 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			



(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況			
●	有	計画名称 { ステップ・アップ2016-2(新5カ年計画)2016~2020 }	計画期間 平成28 ~ 平成32 年度
概要・数値目標			
<概	要>	※交流人口を増やす施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街中に人の集まる拠点を作る</li> <li>・「葛塚市」を活用して街中を活性化する</li> <li>・支援事業を継続する</li> </ul>
		※居住人口を増やす施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査事業を進める</li> <li>・Iターン、Uターン若者の受け入れ態勢を整える</li> <li>・高齢者と若者の食を守る</li> </ul>
	無	未策定理由 { }	

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
●	有	就任時期 年度~ 依頼先職種 { }	● 有 依頼時期 平成15 年度~ 依頼先職種 { 公認会計士(有)風間会計社 }
●	無		無

③ 事務処理改善の取組み			
●	有	取組内容 平成22 年度~ { 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程 }	
	無		

④ 人材育成の取組み			
	有	取組内容 年度~ { }	
●	無		

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況																														
	有	策定期間 平成 年度~ 規定名称 { }	<table border="1"> <tr> <td>●</td> <td>定款等</td> <td>平成22 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業内容</td> <td>平成19 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>役員名簿</td> <td>平成19 年度~</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役員報酬</td> <td>年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業報告</td> <td>平成19 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>損益計算書</td> <td>平成29 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>貸借対照表</td> <td>平成29 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>事業計画書</td> <td>平成19 年度~</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>予算概要</td> <td>平成22 年度~</td> </tr> </table>	●	定款等	平成22 年度~	●	事業内容	平成19 年度~	●	役員名簿	平成19 年度~		役員報酬	年度~	●	事業報告	平成19 年度~	●	損益計算書	平成29 年度~	●	貸借対照表	平成29 年度~	●	事業計画書	平成19 年度~	●	予算概要	平成22 年度~
●	定款等	平成22 年度~																												
●	事業内容	平成19 年度~																												
●	役員名簿	平成19 年度~																												
	役員報酬	年度~																												
●	事業報告	平成19 年度~																												
●	損益計算書	平成29 年度~																												
●	貸借対照表	平成29 年度~																												
●	事業計画書	平成19 年度~																												
●	予算概要	平成22 年度~																												
●	無	未整備理由 { 規程を整備するほどの事業規模にないという判断で、整備していない。 }																												

改善対応区分  
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)  
 B:改善の取組の効果が始まっている  
 C:改善の取組に着手  
 D:改善の取組に向けて検討中  
 E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【今後改善を要する事項とそれに対する取組み】の改善状況

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
地域の特色を活かしたブランドづくり、特産品の販路拡大など、内外へアピールする事業を展開する。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		サツマイモ（シルクスイート）を「しるき〜も」としてブランド化し、キテ・ミテ・キタクにおいて、アピールし、販路の拡大を図る。					
今後の具体的な改善・対応方針等		J A新潟と連携し、生産量の増、販路拡大、保管庫の確保をめざす。					
① 今後の改善・対応	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	工程	キテ・ミテ・キタク実行委員会	継続	継続	継続	継続	
		特産物研究協議会	支援内容の精査	支援活動実施	支援活動実施	支援活動実施	
	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	成果指標	生産量増	計画	生産量を増やす	70 t	90 t	100 t
			実績	50 t			
成果指標	販路拡大	計画	販路を拡大する	東京スーパー	継続	継続	
		実績	地元スーパー・イベント				

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
Yショップ豊栄駅店は、「まちづくり」会社の重要な拠点と位置付けており、赤字を最小限に抑えながら、維持継続していきたい。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		売れ筋商品の発掘及び外販商品の販路拡大					
今後の具体的な改善・対応方針等		会議用お茶の注文をとる。折々のお祝い等商品（ケーキ・うな重等）の注文をとる。					
② 今後の改善・対応	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	工程	売れ筋商品の発掘及び外販商品の販路拡大	継続	継続	継続	継続	
		経常経費の削減	継続	継続	継続	継続	
	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	成果指標	お茶の販売	計画	お茶の注文	1,500本	2,000本	2,500本
			実績	1,000本			
成果指標	お祝い商品の販売	計画	ケーキ・うな重等	120個	140個	150個	
		実績	100個				

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
今年度は収支状況を精査し、来年度作成予定の中長期計画に具体的な事業を盛り込んでいきたい。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		中長期計画を見直し、実行可能な具体的プランを作成する。					
③ 今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		数値目標を含むプランにする。				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		中長期計画の見直し	プランの作成	計画の推進	計画の推進	計画の推進	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		新5か年計画を作成	計画	具体的プラン作成	計画の推進	計画の推進	計画の推進
実績			プランを作成				
計画							
実績							

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
具体的な事業として、街なかの賑わい創出、高齢化・人口減少対策、空店舗・空家対策等を実行していきたい。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		実施可能な具体的なアクションプランとして、新5か年計画に盛り込む。					
④ 今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		交流人口を増やす 居住人口を増やす (別項目に集約)				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		交流人口増対策	若者協働事業の支援及び葛塚市の活用支援	新たな商店街内拠点の開設、事業着手	継続	継続	
	成果指標	居住人口増対策	空き家空き店舗の現況調査	空き家空き店舗活用事業の具体化	事業着手	継続	
			活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画					
		実績					
	計画						
	実績						

今後改善を要する事項とそれに対する取組み							
駅前再開発事業と区役所本館跡地の活用計画の調査検討を行なう。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		駅前再開発事業については、参入の可能性をさぐる。区役所本館跡地の活用については、調査を実施した。					
⑤ 今後の改善・対応		今後の具体的な改善・対応方針等					
		駅前再開発事業については、継続的に調査を行なう。本館跡地の活用については、可能性が、ほぼ無くなったので断念した。					
今後の改善・対応	行程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		駅前再開発事業の調査研究	参入可能分野の調査研究	参入分野をさぐる。	参入分野をさぐる。	参入分野をさぐる。	
成果指標	成果指標	活動指標・成果目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		計画					
		実績					
		計画					
		実績					

改善対応区分  
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)  
 B:改善の取組の効果が始まっている  
 C:改善の取組に着手  
 D:改善の取組に向けて検討中  
 E:今は実施せず今後の課題とする

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項							
中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組む必要がある。 中長期計画に具体的な事業を盛り込む場合には、「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方についての検討結果を反映した計画とする必要がある。							
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容							
今後の具体的な改善・対応方針等		中長期計画を見直し、まちづくり会社らしい事業に取り組むこととした(別項目に集約)					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		中長期計画の見直し	アクションプランの策定	計画の推進	計画の推進	計画の推進	
成果指標	成果指標	活動指標・成果目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		計画					
		実績					
		計画					
		実績					

改善指示事項						
ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業に関して、会社、行政、商工会、自治会等の関係機関とのネットワーク強化が必要である。						
改善・対応区分	●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容						
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		関係機関との連携強化を継続していくこととした。			
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		関係機関との関係強化	継続	継続	継続	継続
	成果指標	区役所本館跡地利用計画の調査	関係機関との連携による調査検討機関の立ち上げ	利用計画の検討		
		活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画				
	実績					
	計画					
	実績					

改善指示事項							
収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業を具体的なアクションプランを作成するとともに、早期に実施することが必要である。							
改善・対応区分	●	A	B	C	D	E	
前年度の改善・対応内容							
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		具体的なアクションプランを作成し、実施することとした。〈別項目に集約〉				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		中長期計画の見直しを実施	アクションプランの策定	計画の事業化	継続	継続	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			計画				
		実績					
	計画						
	実績						

改善指示事項						
団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的には「ヤマザキショップ豊栄駅店」の収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。						
改善・対応区分	●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容						
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		「道の駅豊栄」・「時間貸駐車場」どちらも収支は黒字であり、「ヤマザキショップ豊栄駅店」の収支に頼ることは解消した。			
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		「道の駅豊栄」収支改善	黒字化の継続と大規模改修費用の確保	継続	継続	継続
		時間貸駐車場収支改善	契約期間の確保	継続	継続	継続
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画				
		実績				
		計画				
	実績					

改善指示事項							
赤字決算となった駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。							
改善・対応区分	●	A	B	C	D	E	
前年度の改善・対応内容							
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		「ヤマザキショップ豊栄駅店」の増収策は継続して実施していくこととし、駅前再開発事業については、引き続き参入分野をさぐっていくこととします。				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		増収策及び経費削減の実施	継続	継続	継続	継続	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			計画				
実績							
	計画						
	実績						

改善指示事項										
「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取組みを強化することが望まれる。										
改善・対応区分	●	A		B		C		D		E
前年度の改善・対応内容	道の駅豊栄のイメージアップと機能の充実を図る。 道の駅豊栄を活用して特産品を販売し、地域をアピールする。									
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等	「しるきーも」の焼き芋を販売する。 トイレ改修を新潟国道事務所に働きかける。 E V 充電器を設置する。 W i F i 機能を備える。								
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度					
工程	イメージアップと機能の充実を図る。	EV充電器設置 W i F i 設置	継続		継続		継続		継続	
	しるきーもを販売する。	焼き芋機設置	継続		継続		継続		継続	
成果指標	活動指標・成果目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度					
	トイレ改修	計画	実施決定	改修工事	継続	継続				
実績		調査・設計	工事着手							
	焼き芋販売	計画	検討・準備	継続	継続	継続				
		実績	試 販売							

改善指示事項											
本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討する必要がある。 設立目的である中心市街地及び街づくりの活性化に資するより一層の取組が望まれる。そのための市との連携及び商店街の協力が欠かせない。											
改善・対応区分	●	A		B		C		D		E	
前年度の改善・対応内容											
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等	「まちづくり会社らしい事業」を優先的なものからじっししていくこととした。 (別項目に集約)									
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
工程	支援事業の継続実施	支援事業の精査	継続		継続		継続		継続		
	街中に人の集まる拠点をつくる	事業計画策定 自治協へ提案	事業着手		継続		継続		継続		
	「葛塚市」を活用し街中を活性化する	事業開始・出店	継続		継続		継続		継続		
	区役所本館跡地利用計画の調査	断念	断念		断念		断念		断念		
成果指標	活動指標・成果目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
		計画									
実績											
		計画									
		実績									

改善指示事項										
「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方を明確化する取組を進捗させるためには、経営者が課題を自覚し、リーダーシップを発揮していくことが求められる。実態と責任の伴う職務執行が可能な経験のある役員を登用するなど、経営体制を強化することも必要と考える。										
改善・対応区分	●	A		B		C		D		E
前年度の改善・対応内容										
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		昨年から、若年の取締役2名を加えるなど体制をととのえた。人材の派遣や経費の嵩む採用等は断念せざるを得ない。							
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
		取締役に若手を加える	株主総会承認	継続	継続	継続	継続			
	行政及び関係機関による人材派遣の依頼	制度・仕組みの調査検討	継続	継続	継続	継続				
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
拠点をつくる		計画								
		実績								
出店者を増やす		計画	実行委員会立ち上げ	5店舗	5店舗	5店舗	5店舗			
	実績									

改善指示事項										
*「新5か年計画」は現体制及び予算の範囲で優先課題に取り組んでいくべきである。 *「新5か年計画」は年度ごとの進捗状況や5年後の具体的な姿を明示するなど、計画内容の更なる充実が必要である。 その上で年度ごとに実施するアクションプランを策定し、実施していく必要がある。										
改善・対応区分		A		B	●	C		D		E
前年度の改善・対応内容	年次ごとに、数値的、具体的、優先的プランに切り替える。									
今後の改善・対応	今後の具体的な改善・対応方針等		実現可能なものから優先的に着手する。（別項目に集約）							
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度				
		街なかに人の集まる拠点をつくる	検討・準備	1箇所オープン	検討・準備	1箇所オープン				
	「葛塚市」の出店者を増やす	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR				
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度			
拠点をつくる		計画	検討・準備	1箇所オープン	検討・準備	1箇所オープン				
		実績								
出店者を増やす		計画	実行委員会立ち上げ	5店舗	5店舗	5店舗	5店舗			
	実績									



改善指示事項							
*「新5か年計画」は現体制及び予算の範囲で優先課題に取り組んでいくべきである。							
*「新5か年計画」は年度ごとの進捗状況や5年後の具体的な姿を明示するなど、計画内容の更なる充実が必要である。							
その上で年度ごとに実施する具体的なアクションプランを策定し、実施していく必要がある。							
改善・対応区分		A	B	●	C	D	E
前年度の改善・対応内容		計画の中に、具体的に、何をするという姿が見えるプランにする。					
今後の具体的な改善・対応方針等		プラン通りの実施をめざす。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		空き家の活用 (シェアハウス)	検討・準備	1軒オープン	1軒オープン	1軒オープン	
		空き家の活用 (学生食堂)	検討・準備	検討・準備	1軒オープン	管理・運営	
	成果指標	活動指標・成果目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		(シェアハウス)	計画	検討・準備	1軒	1軒	1軒
			実績				
(学生食堂)	計画	検討・準備	検討・準備	1軒	管理・運営		
	実績						

## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>
新潟市からも補助金も頂くことなく、僅かながらも、単年度黒字を維持していることからして、会社としての財務は健全であると考えている。
<b>団体の自立性</b>
自立の条件は、いくつかあげられるが、その第一はやはり黒字であることである。又、優れた役員集団であることから、判断力、迅速性、責任感ある団体であると自負している。以上より、当社は自立している団体であると考えている。
<b>経営の効率性・適正性</b>
新役員を入れて経営陣の若返りを図り、より柔軟で効率的な運営体制を構築することができている。又、上記のとおり黒字決算を継続できている、定期取締役会において経営状況を適時チェックしていることから、適正な運営はできている。
<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 電子公告による情報公開をスタートした。</li> <li>* 道の駅豊栄にEV充電器設置・Wi-Fi機能付自動販売機を設置した。</li> <li>* 所管課との検討・協議の場を設けていただいた。</li> <li>* 地元農協とタイアップして、特産のサツマイモ「しるきーも」の販売を開始した。</li> </ul>
<b>総括的な所見</b>
中長期計画を見直し、「新5か年計画」として現体制及び予算の範囲で優先的に取り組むべき具体的なアクションプランを掲げたが、昨年頂いた評価では、このままでは成果を出すことは難しいと思われるとのことであった。この評価に対しては、これからの実績で応えていくしかないと考えている。

## 【所管課による評価】

<b>現状に対する評価</b>
新中長期計画における事業に対する取り組みを進め、今年度は具体的な成果を出すことを望む。
<b>課題及び改善すべき事柄</b>
今後、推進すべき事業の増加が予想され、それ伴う体制強化が必要と思われる。
<b>今後の指導方針</b>
実施事業を着実に完遂させ、まちづくり会社としての実績を積み重ね、地域における頼れる組織となるように、着実な事業の実施ができるよう指導していく。

## 【今後改善を要する事項とそれに対する取組み】

①	経営改善状況に記載した取り組みや中長期計画に基づいた事業を、順次実施していく。
②	
③	